2025/7/15版

第34回日本エネルギー学会大会
プログラム

開催日:　2025年8月7日（木）～8日（金）

会場:　東北大学川内北キャンパス
宮城県仙台市青葉区川内41

※開催にあたり一般財団法人青葉工学振興会より学術研究集会助成金の
ご支援を頂いております。

主催:一般社団法人日本エネルギー学会
共催:国立大学法人 東北大学大学院工学研究科

後援:新エネルギー・産業技術総合開発機構
協賛: 公益財団法人　仙台観光国際協会
協賛: アルコール協会, エネルギー・資源学会, 応用物理学会, 化学工学会,
環境科学会, 空気調和・衛生工学会, 産業環境管理協会, 自動車技術会,
省エネルギーセンター, 触媒学会, 新エネルギー財団, 水素エネルギー協会,
カーボンフロンティア機構, 石油学会, 石油技術協会, 天然ガス鉱業会,
コージェネレーション・エネルギー高度利用センター, 電気事業連合会,
日本ガス協会, 日本機械学会, 日本建築学会, 日本工業炉協会, 日本工学会,
日本太陽エネルギー学会, 日本鉄鋼協会, 日本都市計画学会, 日本燃焼学会,
日本熱物性学会, 日本風力エネルギー学会, 日本マリンエンジニアリング学会,
日本冷凍空調学会, バイオインダストリー協会, 廃棄物資源循環学会,
有機エレクトロニクス材料研究会

第34回日本エネルギー学会大会　プログラム

2025.8.7（木）　第34回大会（1日目午前）

会場	会場1	会場2	会場3
部屋名	C棟　C200	C棟　C101	C棟　C102
		バイオマス セッション 3-1 反応・変換1 座長 高津淑人(東京都市大学)	
9:10 – 9:30		3-1-1　リグニン由来炭素系触媒を用いたセルロースの水熱糖化反応 （東京農工大）〇余少樺、澤田淳平、神谷憲児、銭衛華	
9:30 – 9:50		3-1-2　CeO_2ZrO_2複合担体担持AuCu触媒を用 いたエタノールCO_2改質反応に及ぼす触媒調製法の影響 （三重大）加藤美奈、橋本忠範、〇石原篤	
9:50 – 10:10		3-1-3　ヘキサン中での熱分解支援接触水素化分解におけるリグニン由来物からのアルキルフェノール類の生成機構 （京都大）〇汪 家琦、イケダ フランシスコ アレックス、南 英治、河本晴雄	
10:10 – 10:30		3-1-4　水中での木材の接触熱分解による合成ガス及び芳香族モノマー類の生産 （京都大）〇イケダ・フランシスコ アレックス、汪家琦、南英治、河本晴雄	
		バイオマス セッション 3-2 反応・変換2 座長 石原篤(三重大学)	**新エネ・水素 セッション 4-1 アンモニア利用 座長 花田信子(早稲田大学)**
10:40 – 11:00		3-2-1　Cu-HZSM-5@AlKIT-6 触媒を用いた稲わら由来バイオオイルの脱酸素化 （弘前大）〇パットライヤ パンピアン、アッザーラ アギティアスホイルン、賈 鵬龍、張志華、阿布 里提、官 国清	4-1-1　アンモニア含有水蒸気のプラズマ分解による水素生成 （岐阜大）〇礒山桃香、神原信志、義家 亮、中村天彰
11:00 – 11:20		3-2-2　固体酸触媒を用いた骨格異性化によるPAO由来BDFの低温流動性改善 (東京農工大）〇 範 麗江、彭 明明、神谷 憲児、銭衛華	4-1-2　アンモニアメタネーションにおける ハイブリット触媒への担体粒子サイズ効果 （広島大）〇砂本礼志、宮岡裕樹、市川貴之、斉間等
11:20 – 11:40		3-2-3　クレゾール水素化を組み合わせた水相改質に対する水素源物質の影響 （東京都市大）〇高津淑人、中島千華、佐藤優吉、モニークジョイスオギス	4-1-3　液体アンモニア電解におけるTi-RuO2電極の耐久性評価 （広島大）〇水野晃輔、大沢修平、（ハイドロラボ）市川友之、（広島大）宮岡裕樹、市川貴之
11:40 – 12:00		3-2-4　高温高圧2-プロパノールとNi触媒によるフェニルプロパノールの移動水素化脱酸素 （東京大）〇堂脇大志、澤井理、布浦鉄兵	4-1-4　ナトリウム-窒素固溶体を反応中間体として利用したアンモニア合成 （広島大）〇宮岡裕樹、恒松紘喜、斉間等、市川貴之
12:00 – 13:00	**昼休み**		

第34回日本エネルギー学会大会　プログラム

2025.8.7（木）　第34回大会（1日目午前）

会場	会場4	会場5	会場6
部屋名	C棟　C106	C棟　C201	C棟　C206
		燃焼・熱利用 セッション 5-1 **燃焼・熱利用1** **座長 小林信介(岐阜大学)**	
9:10 – 9:30		5-1-1　気流による液膜の微粒化過程—バッグ破断に伴う液膜スパン方向振動の支配機構— （東北大）〇大島逸平、（神戸大）金月翔哉、宋明良	
9:30 – 9:50		5-1-2　旋回-絞り構造バーナーのスケールアップ （香川大）〇辻村翔太、星加浩輔、横山綜馬、楠直也、吉本篤規、奥村幸彦	
9:50 – 10:10		5-1-3　各種吸着剤のアンモニア吸着・脱着特性 （岐阜大）〇齋木凌拳、神原信志、義家 亮、中村天彰	
10:10 – 10:30		5-1-4　$NH_3/H_2/N_2$混合ガス燃焼のNOx生成反応シミュレーション （岐阜大）〇成田睦実、神原信志、義家 亮、中村天彰	
		5-1-5　含水エタノールが火花点火機関の燃焼特性に与える影響 （日本大）〇上野隆盛、須田涼介、荒井悠杜、飯島晃良	**エネルギー学 セッション 7-1** **エネルギー評価1** **座長 秋元祐太朗(筑波大学)**
10:40 – 11:00			7-1-1　CNF 強化プラスチック導入に伴う国内付加価値分析のためのIOA-MFA統合分析手法の構築 （電中研）〇稗貫峻一、（東京大）尾下優子、（福島大）西嶋大輔、（東京大）兼松祐一郎、菊池康紀
11:00 – 11:20		**11:00 – 11:50** **燃焼・熱利用分野基調講演** **司会 飯島晃良(日本大学理工学部)** **「Hondaのカーボンニュートラル燃料研究開発の取り組み」** **（株）本田技術研究所　橋本公太郎**	7-1-2　白金・パラジウム・ネオジムの供給量制約を考慮したエネルギー技術選択に関する分析 （横浜国立大）〇芝田和弥、大槻貴司
11:20 – 11:40			7-1-3　地域間取引を考慮した木質バイオマス発電による社会経済効果 （横浜国立大学）〇鈴木信太朗、本藤祐樹、森泉由恵
11:40 – 12:00			7-1-4　リニア山梨県駅周辺地域における面的利用の省エネルギー効果 （山梨大）〇島崎 洋一
12:00 – 13:00	**昼休み**		

第34回日本エネルギー学会大会　プログラム

2025.8.7（木）　第34回大会（1日目午後）

会場	会場1	会場2	会場3
部屋名	C棟　C200	C棟　C101	C棟　C102
		バイオマス セッション 3-3 反応・変換3 座長 秀野晃大(愛媛大学)	
13:00 – 13:20		3-3-1　双性イオンを用いた植物バイオマスの高効率ワンポットエタノール生産 （金沢大）〇蜂巣歩、黒田浩介	
13:20 – 13:40		3-3-2　牛ルーメン由来微生物群を活用したマコンブの水素・メタン 発酵によるエネルギー生産とその利用 （東北大）〇多田千佳、多田千夏、（鹿島建設）リンブーン ケン、（日本エヌ・ユー・エス）小菅良典、仲地史裕、小林浩	13:30–14:20新エネ・水素分野基調講演 司会 市川貴之(広島大学) 「異業種間の炭素／熱バリューチェーンによるカーボンニュートラルへのアフォーダブルな移行」 早稲田大学　中垣隆雄
13:40 – 14:00		3-3-3　バイオマスガス化模擬ガスによる固体酸化物燃料電池の発電特性 （名古屋大）〇川辺昇、張慧、出町豊子、成瀬一郎、（岐阜大）義家亮、（愛知工業大）植木保昭	
14:00 – 14:20		3-3-4　木質バイオマス由来タール含有炭化物の酸化鉄還元剤としての評価 （信州大）〇高橋伸英、西村果純	
		バイオマス セッション 3-4 バイオオイル 座長 多田千佳(東北大学)	新エネ・水素 セッション 4-2 新エネルギー 座長 岡崎徹(エネ総工研)
14:30 – 14:50		3-4-1　微細藻類油脂の脂肪酸組成に及ぼす光照射条件の影響に関する調査研究 （チェンナイ工科大）〇上村芳三、（ペトロナス工科大）Lim Jun-Wei	4-2-1　自立浮上潮流発電装置の開発　プラスチック廃棄物の回収と発電をする水力装置の開発 （エース再生エナジー研究所）〇宇野浩
14:50 – 15:10		3-4-2　海洋ｹｲ藻のｵｰﾌﾟﾝ・ｸﾛｰｽﾞ型ﾊｲﾌﾞﾘｯﾄﾞ培養技術の開発 （電源開発）〇西村恭彦、吉住健	4-2-2　越波式波力発電装置によって作られた電力の利活用法の検討 （静岡理工科大）〇居波智也、鈴木颯
15:10 – 15:30		3-4-3　バイオ燃料を用いた小型ディーゼルエンジンにおいて燃料噴射時期とEGR 率が排ガス特性に及ぼす影響 （福井工業大）〇位田晴良、（無所属）楊雨璇	4-2-3　地理情報に基づく世界の洋上風力ポテンシャルの推計 （横浜国立大）〇橋本祐斗、大槻貴司
15:30 – 15:50			4-2-4　垂直軸風車による減風効果の検討 （秋田県立大）〇 藤本なつみ、須知成光
16:00 – 16:20	●2025年度論文賞表彰式		
16:30 – 17:30	特別講演 司会 山本　博巳(東北大学) 「脱炭素をドライブさせる、エネルギーデザインという理論と実践」 東北大学 中田　俊彦		
17:50 – 19:20	交流会 マルチメディア教育研究棟 6階 大ホール （大学構内）		

第34回日本エネルギー学会大会　プログラム

2025.8.7（木）　第34回大会（1日目午後）

会場	会場4	会場5	会場6
部屋名	C棟　C106	C棟　C201	C棟　C206
	天然ガス セッション 2-1 **ガス生産回収** **座長 竹谷敏(産総研)**	**環境対策・リサイクル セッション 6-1** **環境・リサイクル** **座長 波岡知昭(中部大学)**	**エネルギー学 セッション 7-2** **エネルギー評価2** **座長 神貫峻一(電力中央研究所)**
13:00 – 13:20	2-1-1　二元機能触媒の移動層反応器を用いたCO_2からの メタンの連続合成プロセスの開発 （産総研）〇小野祐耶、徳田真樹子、笹山知嶺、高坂文彦、劉彦勇、倉本浩司	6-1-1　リユースバッテリーを搭載した特定小型原動機付自転車の開発と性能評価 （早稲田大）〇相川大樹、清水学、三浦滝雄、小野田弘士	7-2-1　マルチエージェント型世界エネルギーシステムモデルの開発に向けた深層強化学習手法の応用検討 （横浜国立大）〇 佐々木洋翔、大槻貴司
13:20 – 13:40	2-1-2　鉄触媒を用いたメタン熱分解反応の反応機構 （広島大）〇藤岡裕真、宮岡裕樹、斉間等、市川貴之	6-1-2　石炭火力発電所におけるNOx リサイクルプロセスの提案 （電中研）〇秋保広幸、池田敦、〇渡邉淳、栗田宗大	7-2-2　蓄電池リパーパス・リサイクルを考慮した世界エネルギー・鉱物需給モデルの開発 （横浜国立大）〇 濱田僚、大槻貴司
13:40 – 14:00	2-1-3　二元機能触媒の流動層反応器によるCO_2回収および メタン合成プロセスに関する数値解析 （産総研）〇小野祐耶、笹山知嶺、高坂文彦、劉彦勇、倉本浩司	6-1-3　木質バイオマス灰の資源循環に関する研究 （東北発電工業）〇森岳人、長沼宏、（東北大）牧野知之、濱本亨、菅伝真、井上千弘、渡邉則昭、簡梅芳、王佳婕	7-2-3　発電技術に対する市民意識 （電中研）〇窪田ひろみ
14:00 – 14:20	2-1-4　効率的な分離場の設計のためのPeng-Robinson状態方程式における密度計算精度の向上 （東北大）〇大田昌樹、楊乃樹、Smith Richard、猪股宏、（新潟大）小松博幸	6-1-4　デジタルツイン手法を用いた湿式選別の設計 （中部大）〇行本正雄	7-2-4　アンモニア燃料への期待と憂慮―窒素循環改変の視点から （産総研）〇林 彬勒
	天然ガス セッション 2-2 **ハイドレート利用** **座長 工藤久志(産総研)**		**エネルギー学 セッション 7-3** **エネルギー評価3** **座長 窪田ひろみ(電力中央研究所)**
14:30 – 14:50	2-2-1　PVA 添加系CO2-TBAB セミクラスレートハイドレートスラリーの形成挙動および凝集特性 （新潟大）〇小松博幸、田代郁永、江連涼友、多島秀男	**14:30 – 15:50** **環境リサイクル分野基調講演** **司会 野田玲治(群馬大学)** **「大規模災害復旧時の廃棄物処理に求められるもの」** ファシリテーター 金沢大学 榎本啓士 講演1:「能登半島地震における災害廃棄物の海上運搬対応」 レックホールディングス　田中靖訓 講演2:「能登半島地震における無人化運搬技術適用例」 熊谷組　嶋田浩一 講演3:「熊本地震・北九州豪雨で発生した木質系廃棄物の行方」 バイオマス発電連携協議会　佐藤政宗	7-3-1　地理的・時間的解像度の高い日本エネルギーシステムモデルを用いた複数技術導入シナリオにおける地域別最適需給構造の分析 （横浜国立大）〇渡辺弘樹、大槻貴司
14:50 – 15:10	2-2-2　TBAB+CO_2 含有砂の力学特性およびCO_2 吸収特性に関する基礎的研究 （広島大）〇藤本健史、畠俊郎、（富山県立大）宮本泰行、（横浜国立大）室町実大		7-3-2　エネルギーシステムモデルと要因分解法によるCO_2 限界削減費用曲線の推計 （横浜国立大）〇横尾学人、大槻貴司
15:10 – 15:30	2-2-3　カルボキシラートアニオンを含むセミクラスレートハイドレートの電気伝導機構 （大阪大）〇津ヶ谷璃子、菅原 武、嶋田 仁、平井隆之		7-3-3　AIを活用した積雪寒冷地型住宅の脱炭素化に向けたエネルギー利用の最適化 (弘前大)〇方天成、彭上、馬振燕、申宝芸、(新彊大)汪継偉、(弘前大)官国清、阿布里提
15:30 – 15:50	2-2-4　一方向成長法を用いたTBAB水和物の生成・分解特性 （青山学院大）〇髙村和希、小林幹太、森本崇志、熊野寛之		7-3-4　人工知能との協働による脱炭素シナリオの構築に向けた基礎的検討 （横浜国立大）〇中野祐樹、本藤祐樹、（産総研）小澤暁人
17:50 – 19:20	**交流会** **マルチメディア教育研究棟 6階 大ホール** **（大学構内）**		

第34回日本エネルギー学会大会　プログラム

2025.8.8（金）　第34回大会（2日目午前）

会場	会場1	会場2	会場3
部屋名	C棟　C200	C棟　C101	C棟　C102
			新エネ・水素 セッション 4-3 **金属による水素貯蔵** **座長 斉間等(広島大)**
9:10 – 9:30			4-3-1　アーク放電による Mg 微粒子のフロー合成と水素吸蔵特性の評価 （早稲田大）〇佐藤翔太、吉田啓佑、野田優、花田信子
9:30 – 9:50			4-3-2　AB型水素吸蔵合金タンクの数値解析手法に関する100A級実タンクを用いた検討 （産総研）〇奥村真彦、鈴木泰政、遠藤成輝、（清水建設）林亮佑、瀬川裕太、北川遼、下田英介、山根俊博
9:50 – 10:10		**9:40 – 10:30** **バイオマス分野基調講演** **司会 上村芳三(チェンナイ工科大学)** **「環境価値を経済価値に転換することへの挑戦と課題～バイオプラスチック事業開発の経験から～」** **環境コンサルタント** **（三井化学株式会社ESG推進室）** **川島信之**	4-3-3　金属水素化物貯蔵のための最小曲面タンクの性能指向最適化 （東京大）レスマナルトファンアディ、アズィッズ ムハンマッド
10:10 – 10:30			4-3-4　三重周期極小曲面構造を採用した容器を用いたモビリティ分野向け水素吸蔵の高効率化 （東京大）〇阿部健太、Luthfan Adhy Lesmana、Muhammad Aziz
		バイオマス セッション 3-5 **ガス化** **座長 小井土賢二(国立環境研究所)**	**新エネ・水素 セッション 4-4** **水素製造・燃料電池** **座長 吉田啓佑(早稲田大学)**
10:40 – 11:00		3-5-1　触媒の超臨界水ガス化に及ぼす効果 （広島大）〇松村幸彦、荒川頼斗、山田耕輔	4-4-1　再生可能エネルギー環境下での水電解評価技術の進捗報告 （産総研）〇前田哲彦、小島宏一、長澤兼作、五舛目清剛、津田勇希、小林靖和、佐久間雄一
11:00 – 11:20		3-5-2　ゴムの水蒸気ガス化時の反応およびタール・すすの生成挙動 （名古屋大）〇安中潤、張慧、出町豊子、成瀬一郎、（愛知工業大）植木保昭、（岐阜大）義家亮、（住友理工）間瀬昭雄、西岡鉄馬	4-4-2　炭素析出に耐性のあるSOFC積層構造の構築と高性能化 (弘前大)〇彭上、方天成、申宝芸、(フロンティア・ラボ)Pairuzha Xiaokaiti、(新彊大)汪継偉、(弘前大)官国清、阿布里提
11:20 – 11:40		3-5-3　早生樹、竹系などのバイオマス新燃料灰の溶融に及ぼす添加剤の効果 （中部大）〇二宮善彦、（PEO技術士事務所）笹内謙一	4-4-3　Ni担持CeO_2–TiO_2の酸素空孔によるCO_2還元の高活性化 （電源開発，東京理科大）〇片岸賢翼、（東京理科大）迫田怜、寺島千晶
11:40 – 12:00		3-5-4　ベンチスケール反応器を用いた木質バイオマスガス化中への水素導入によるガス化特性評価 （本田技術研究所）〇岡村昂汰、松浦勝也、中嶋栞理、尾田裕介、橋本公太郎、(岐阜大)隈部和弘	4-4-4　PEFC触媒インクの高性能化 （岐阜大）〇松岡是空、神原信志、義家 亮、中村天彰
12:00 – 12:40	**昼休み**		

第34回日本エネルギー学会大会　プログラム

2025.8.8（金）　第34回大会（2日目午前）

会場	会場4	会場5	会場6
部屋名	C棟　C106	C棟　C201	C棟　C206
	天然ガス セッション 2-3 ハイドレート生成分解 座長 小松博幸(新潟大)		
9:10 – 9:30	2-3-1　クラスレートハイドレート生成・分解メカニズムの解明～巨大潜熱利用ヒートポンプの実現に向けて～ （豊田中央研究所）〇橋本俊輔、山内崇史	石炭・重質油 セッション 1-1 石炭・重質油等1 座長 松川嘉也(東北大学)	
9:30 – 9:50	2-3-2　実験によるメタンハイドレートのインダクションタイムの分布の評価 （産総研）〇工藤久志、竹谷敏、鈴木清史、天満則夫、（地熱技術開発）大山裕之	1-1-1　大崎クールジェンプロジェクトの最新取組－CO_2 分離・回収型IGCC におけるバイオマス混合ガス化実証事業－ （大崎クールジェン）〇中村大地、美澄祐志	
9:50 – 10:10	2-3-3　ガスと氷の接触により生成するガスハイドレート膜厚の推定 （北見工業大）〇 八久保晶弘、水谷優斗、（産総研）竹谷敏	1-1-2　CO_2ハイドレート貯留に関する圧力差一定制御に基づくCO_2流れ場における遮蔽性能に関する室内実験の結果 （電源開発）〇池川洋二郎	
10:10 – 10:30	2-3-4　ガスハイドレートの極低温域における分解 (産総研)〇竹谷敏、(北見工大)八久保晶弘	1-1-3　褐炭のガス化技術と組み合わせたブルーアンモニア合成プラントの熱物質収支シミュレーション （電源開発）〇出口光、片岸賢翼、佐藤俊介、池田雅枝	
	天然ガス セッション 2-4 ハイドレート基礎 座長 室町実大(横国大)		省エネ・消費者行動 セッション 8-1 省エネ・平準化 座長 岸田真一(住環境計画研究所)
10:40 – 11:00	2-4-1　深海用録音録画装置を利用したメタンプルームの湧出音の収録 （東京海洋大）〇青山千春、（ウエタックス）植木正春	10:40 – 11:30 石炭・重質油分野基調講演 司会 蘆田 隆一(京都大学) 「高温・不活性雰囲気下における炭素材料の強度と材料定数の予測」 九州工業大学 齋藤泰洋	8-1-1　光触媒含有液滴水処理プロセスのエネルギー消費 （東京大）〇加藤匠馬、苷蔗寂樹
11:00 – 11:20	2-4-2　硫化水素ハイドレートの光照射によるゲスト分子の分解 （岐阜大）〇佐々木重雄、小木曽温都、坂田雅文、木村友亮		8-1-2　磁性体の磁気エントロピー変化を用いたエネルギーハーベスターの構築 （東京大）〇清本光、酒井裕香、苷蔗寂樹
11:20 – 11:40	2-4-3　一酸化炭素ハイドレート生成時のゲスト炭素同位体分別に及ぼすケージサイズ依存性 （北見工業大）〇水谷優斗、八久保晶弘、（産総研）竹谷敏		8-1-3　蒸気アキュムレーターを統合した廃棄物発電プラントの変動性吸収 （東京農工大）〇岩間星哉、青木将大、伏見千尋
11:40 – 12:00			8-1-4　研究施設における再生可能エネルギー設備容量の最適化に向けた検討 （新菱冷熱工業）〇近都州彦
12:00 – 12:40	昼休み		

第34回日本エネルギー学会大会　プログラム

2025.8.8（金）　第34回大会（2日目午後）

会場	会場1	会場2	会場3
部屋名	C棟　C200	C棟　C101	C棟　C102
12:40－14:00	ポスターセッション 会場7　B棟 談話室		
14:00 – 14:10	休憩		
		バイオマス セッション 3-6 固体燃料1 座長 安田肇(産総研)	新エネ・水素 セッション 4-5 メタン・その他 座長 宮岡裕樹(広島大)
14:10 – 14:30		3-6-1　仙台市域の木質バイオマスポテンシャル （国立環境研究所）〇河原崎里子、芦名秀一	4-5-1　水素混合ガスパイプラインにおけるガス輸送時間の実験的計測と流体解析評価 （日立製作所）〇渡部亜由美、石田直行、徳田勇也、稲垣良平、飯塚秀宏、矢敷達朗
14:30 – 14:50		3-6-2　木質バイオマスの小規模熱利用に技術経済性評価と普及に向けた課題 （富士大）〇海邉健二、遠藤元治	4-5-2　カーボンニュートラル社会実現に向けた合成燃料技術開発 （ENEOS）〇島田孝司
14:50 – 15:10		3-6-3　固体バイオ燃料の国際規格の動向と課題(2) －規格改訂動向と日本の対応状況 （森林総研）〇吉田貴紘、久保山裕史	4-5-3　ルテニウム触媒によるメタネーション素反応シミュレーション （岐阜大）〇松本捺希、神原信志、義家 亮、中村天彰
15:10 – 15:30		3-6-4　日本の森林はどのくらい伐ってもいいのだろうか―文献レビューと多角的検討― （京都大）〇峰尾恵人	4-5-4　二酸化炭素水素化用ルテニウム内包多孔質球状中空シリカの熱処理条件の影響 （日本大）〇梅垣哲士、河口真大、武田凛太郎、小嶋芳行
		バイオマス セッション 3-7 固体燃料2 座長 吉田貴紘(森林研究・整備機構)	
15:40 – 16:00		3-7-1　マイクロ波を用いた乾燥促進剤添加汚泥の乾燥特性 （岐阜大）〇林由輝也、小林信介、須網暁	
16:00 – 16:20		3-7-2　複合固形化により有機物の臭気を抑制した固形燃料の簡易な評価手法 （産総研）〇安田 肇	
16:20 – 16:40		3-7-3　バイオマス固形燃料の製造技術開発および廃棄物処理施設への適用 （日鉄エンジニアリング）〇黒澤尭大、安田和真、関本賢一、小脇幸男、武田卓	
16:40 – 17:00			

第34回日本エネルギー学会大会　プログラム

2025.8.8（金）　第34回大会（2日目午後）

会場	会場4	会場5	会場6
部屋名	C棟　C106	C棟　C201	C棟　C206
12:40－14:00	ポスターセッション 会場7　B棟 談話室		
14:00 – 14:10	休憩		
		石炭・重質油 セッション 1-2 石炭・重質油等2 座長 蘆田隆一(京都大学)	省エネ・消費者行動 セッション 8-2 エネルギー・システム分析 座長 苷蕗寂樹(東京大学)
14:10 – 14:30	14:10 – 15:00 天然ガス分野基調講演 司会　竹谷敏（産総研） 「天然水素ガス鉱床の探鉱開発」 九州大学 工学研究院　山田泰広	1-2-1　半炭化バイオマスの配合割合が異なるコークスのCO_2およびH_2Oガス化反応性に関する実験的検討 （東北大）〇土屋皓亮、松川嘉也、（日本製鉄）松尾翔平、林崎秀幸、窪田征弘、（東北大）青木秀之	8-2-1　先進モデル地域における再生可能エネルギー主体のエネルギーチェーンの分析 （東北大）〇望月雄真、志村啓紀、山本博巳
14:30 – 14:50		1-2-2　不活性物質を配合した高密度コークスのCO_2ガス化反応に 伴う引張強度の変化に関する実験的検討 （東北大）〇丹野清凜、松川嘉也、青木秀之、（JFEスチール）荒川彩良、永山幹也、松井貴	8-2-2　東日本の多地域エネルギーチェーンモデルによる2040年の需要側機器の電化効果の分析 （東北大）〇志村啓紀、山本博巳
14:50 – 15:10		論文賞受賞講演 13C-NMRスペクトルと工業分析を組み合わせた高輝発分炭の化学構造パラメータ導出 （三菱重工）〇横濱克彦、（九州大）渡邊裕章	8-2-3　将来のエネルギー需要の変化に関する要因分析―家庭用エアコンの事例― （住環境計画研究所）〇岸田真一、玄 姫, 平山 翔、鶴崎敬大
15:10 – 15:30	天然ガス等セッション パネルディスカッション		8-2-4　エコフレンドリーな飲料容器利用促進のための粉末飲料の実証研究：神戸女子大学での実践 （神戸女子大）新居心、古谷唯有、〇貝増匡俊
15:40 – 16:00			15:40 – 16:30 省エネ・消費者行動分野基調講演 司会　三神彩子(東京ガス) 「買い方を変えれば、社会が変わる ～消費者行動×サーキュラーエコノミー～」 ブルー・ガーディアンズ 中島伸二
16:00 – 16:20			
16:20 –16:40			
16:40 – 17:00			
17:00 – 17:20			

第34回日本エネルギー学会大会　プログラム

2025.8.8（金）　第34回大会（2日目午後）

12:40 – 14:00 ポスターセッション（会場7　B棟 談話室）

会場	会場7　B棟 談話室		
P-1 石炭・重質油	P-1-1　バイオマス熱分解由来レボグルコセノンを原料とするポリマーの合成 （九州大）〇浅野智大、工藤真二、林潤一郎、（東北大）田原淳士		
P-2 天然ガス	P-2-1　二酸化炭素の海底貯留を目的とした二酸化炭素＋六フッ化硫黄混合ガスハイドレートの相平衡関係 （大阪大）〇石川 佑、菅原 武、平井隆之、（山口大）吉本憲正	P-2-2　ハイドレート分布の不均一性と分布箇所の浸透率への影響 （東京大）〇髙久央矢、今野義浩、（産総研）神裕介、天満則夫	P-2-3　アンモニウム塩型インヒビタのMH生成阻害特性 （横浜国立大）〇淺野歩、（産総研）竹谷敏、鈴木清史、天満則夫、（横浜国立大）室町実大
P-3 バイオマス	P-3-1　熱分析を用いたセルロース系繊維複合樹脂に含まれる セルロースの簡易定量 （愛媛大）〇秀野晃大、薮谷智規、（日泉化学）美藤望、（東京文化財研究所）西田典由	P-3-2　発表キャンセル	P-3-3　CO/CO_2リッチ燃料ガスによるSOFC性能に関する検討 （岐阜大）河村尊臣、義家亮、神原信志、（産総研）百相瑞貴、鷲見裕史
	P-3-4　広葉樹バイオマスの灰溶融特性 （森林総研、国立環境研究所）〇小井土賢二、（森林総研）山下香菜、（国立環境研究所）大村成二、倉持秀敏	P-3-5　石炭及びバイオマスチャーのガス化反応特性比較 （電源開発）〇荒田浩輔、竹村亮介、渡辺圭介	P-3-6　バイオ炭と被覆肥料の混合施肥が常緑広葉樹シロダモの成長に及ぼす効果 （東北工業大）〇新関郁美、大槻昭太、川村恒士郎、小野寺大樹、後藤晴香、大友蓮、佐野哲也
	P-3-7　木質バイオマスの半炭化プロセスおよび粉砕性に及ぼす昇温速度の影響 （山口大）〇木田孟、横川賀信、田之上健一郎	P-3-8　焼成ホタテ貝殻とネピアグラス由来バイオ炭による稲わらの水蒸気共ガス化に与える影響 （弘前大）〇ユシャニ アラハクウン、パットライヤ パンピアン、朱蓮峰、パトリヤ・パンピアン、周小文、賈鵬龍、姜 東鎮、阿布 里提、官 国清	P-3-9　バイオマス主成分の熱分解挙動に基づくスギの熱分解過程における質量収率および元素組成変化の予測 （信州大）〇松本優莉、嶋田五百里、長田光正、福長博、髙橋伸英
P-4 新エネルギー・水素エネルギー	P-4-1　脱炭素化を実現する低温製造工程向けアンモニア燃焼の検討 （社日立製作所）〇阿部和裕、高橋勇、朴勝煥、（大阪大）小西心、中塚記章、赤松史光	P-4-2　平板型Pd-Cu水素分離膜装置の水素透過性能 （岐阜大）〇呂洋、神原信志、義家亮，中村天彰	P-4-3　蓄熱発電のためのAl合金系潜熱蓄熱コンポジットの 蓄熱性能および高温下圧縮強度 （北海道大）〇清水友斗、棚橋慧太、ジェーム メルバート、能村貴宏
	P-4-4　大気圧水素プラズマによる酸化ホウ素ナトリウムの還元 （岐阜大）〇斉藤大樹、神原信志、義家 亮、中村天彰	P-4-5　単管式伝熱管を用いた CO_2昇華槽内の温度分布の予測 （九州工業大）〇 千賀香菜子、田代元太郎、山口博泰、（名古屋大）上原友輔、町田洋、則永行庸、（九州工業大）齋藤泰洋	P-4-6　アンモニア分離用ゼオライト膜の開発とプロセスへの応用 （三菱ケミカル）〇田中学、斎藤真、堤内出
	P-4-7　水蒸気電解への熱の活用による水素製造電力原単位の低減　(1)過熱水蒸気の利用および希釈効果の試算 （九州大）〇矢山大陽、松本広重		
P-5 燃焼・熱利用	P-5-1　C10環状炭化水素がすすの生成および微細構造に及ぼす影響 （東北大）〇高橋良明、松川嘉也、青木秀之、（旭カーボン）江良康貴、青木崇行		
P-7 エネルギー評価・エネルギー学	P-7-1　ライフサイクル単価による定置用蓄電池経済性評価の有効性 （電源開発）〇三村 和史	P-7-2　再エネ導入施設における水素貯蔵による季節間自己融通量の評価 （筑波大）〇倉橋未岬、秋元祐太朗、岡島敬 一	P-7-3　FCVと EVの普及拡大による需要分布を考慮した急速充電器併設型水素充填ステーションの配置評価 （筑波大）〇 西田陸人、秋元祐太朗、岡島敬一
	P-7-4　発表キャンセル	P-7-5　洋上風力発電の導入によるライフサイクルでの環境・社会・経済効果 （横浜国立大）〇加藤椋平、矢木健登、鈴木信太朗、森泉由恵、本藤祐樹	
P-8 省エネルギー・消費者行動	P-8-1　Sn@α-Al_2O_3粒子流動層の蓄熱特性と物理的特性 （東京農工大）〇青木琢登，青木将大，城田尚也，（北海道大）能村貴宏，（東京農工大）伏見千尋		

優秀ポスター賞　投票のお願い

ポスターセッションでの発表が対象となります。
8/8(金) 12:40-14:00 ポスターセッション（会場7　B棟 談話室）

(1)参加者全員による電子投票で行います。
　優秀なポスターに是非とも投票してください。
(2)1位票、2位票の2票を投票して頂きます。
(3) 所属先が同じ発表者への投票はできません。
　投票者と被投票者の所属が同じ場合は無効票となります。
　※この場合の所属先とは大学、企業等の法人単位と致します。
(4)投票は1回のみです。2回目以降の投票は無効と致します。
(5)投票期間　8/8(金)　12:40～19:00
(6)以下のQRコードより、投票フォームにアクセスしてください。

第34回日本エネルギー学会大会 ポスター発表賞 投票

企業展示　C棟 1階C105にて開催

8/7(木)9:30-17:00、8/8(金)9:00-15:00

出展企業（五十音順）

- イノベーションサイエンス株式会社
- 株式会社クォンタムフラワーズ＆フーズ
- 株式会社神戸製鋼所
- 株式会社セントラル科学貿易
- 電源開発株式会社
- 東北電力株式会社
- 株式会社トーヨーエネルギーソリューション
- ニイガタ株式会社
- Mywayプラス株式会社
- 日本エネルギー学会